

2021 年度 特待入試

第 2 回

国 語

〔注意事項〕

- 1 問題は一から四までです。
- 2 時間は 50 分です。
- 3 下敷き^{したじ}、シャープペンシルおよび電算機^{でんさんき}つきの時計の使用を禁止します。
- 4 解答は、鉛筆^{えんぴつ}で濃く^こはっきりと書くようにして下さい。
- 5 開始の合図があるまで問題用紙を開かず、手を触れないで下さい。
- 6 考査中はよそ見をせず、きちんとした態度で行って下さい。
- 7 何か物を落としたら、黙^{だま}って手をあげて下さい。
- 8 他の受験生に迷惑^{めいわく}となるような行為^{こうい}をしないで下さい。

— 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

テレビのバラエティ番組を見ていた時のことです。ある方が、

「(こういう例は) ① 枚拳にいとまがない」

と、いいました。すると、一人が、

「そんな言葉、聞いたことがない」

といました。お仲間のグループが、そうだそうだといい、《枚拳》さんは ① をつぐむ形になりました。スタジオの人たちは、声をあげて笑っていましたが、見ていて釈然としません。

時代劇では、敵方の手ごわい剣客が主人公に切り捨てられ、観客は溜飲をさげます。しかし、敵役に対し、町人が、「そんな剣法、無意味だ」

といったらどうでしょう。そこで、取り囲む皆が笑っても納得できない。《手ごわい剣客》さんも、

—— 何だ、こいつら？

と、思うばかりでしょう。

しかし、テレビ画面にあったのは、やっつけた—— やっつけられた感でした。そこには、言葉に対する敬意がありませんでした。

時代と共に、かたいお菓子^②が敬遠されるようになり、柔らかいお菓子^③が好まれるようになったそうです。口にとっては、その方が楽でしょう。楽をすると、体は弱くなります。

この場合の《枚拳にいとまがない》は、格別、かたいお煎餅^④でも、—— いや、難しい言葉でもありません。スーパーで買物をする時にはいらなくても、何かを論じたりする時には、普通に出て来る言葉です。

意味は、聞いたことがなくても前後関係から、簡単に分かります。言葉を覚える道がここにあり、我々は赤ちゃんの頃からその道を通して、段々と話したり書いたりするようになって来たのです。

以前なら、《枚拳》が出たところで人は、知らなくても知っているような顔をし、内心、

—— ひとつ、言葉を覚えた。

と、思った筈^⑤です。そうやって、将棋^⑥でいうなら、持ち駒を増やしていった。

簡単に、知らないことを切り捨て、しかも皆で笑うなら、手の駒はどんどん少なくなってしまいます。桂馬^⑦があれば詰められる、歩^⑧一枚あれば詰められる。そういった局面で、ただ盤^⑨の向こうの敵を見、ぼかんとしているしかなくなるのです。

この放送を観たすぐ後、たまたま『世界文学への招待』という、放送大学の授業にチャンネルを合わせました。UCLAのマイケル・エメリック氏が講師になり、世界の中の日本文学について語ります。

マイケル氏はいいました。

「……のようなケースは他に、実は枚挙にいとまがないのです」

昨日の今日といていい、まさに絶妙ぜつみょうのタイミングでしたから、思わず、

「おおっ！」

と、声をあげてしまいました。

外国人でも、使うじゃないか——というつもりはありません（正確にいうなら、なくもないのですが）。マイケル氏の日本語力は、並の日本人よりはるかに上でしょう。しかしながら、肝心かんじんなのは、この言葉⑤がここでは打たれるべき《歩》だったということです。言葉とはそういうものです。

実用的な伝達手段としての言葉に対し、小説や詩の表現では、やさしく言い換えかると、何か⑥が失われます。

「五月雨を集めて早し最上川

と、

五月雨を集めて早い最上川

は違います。二つの五七五は、等価ではない。

「早し、なんて聞いたことがない」

といて、芭蕉ばしゅうの作を切り捨ててしまうことができるでしょうか。現代人に分かりやすいのは後者です。しかし、明快そうに見えて、実はそちらの意味は揺らゆらいでいます。

五月雨を集めて早い。最上川！

なのか、あるいは、

五月雨を集めて、早い最上川！

なのから分らないのです。一方、芭蕉の句ははっきりしている。《早し》が終止形だからです。《早き最上川》ではない。分りやすいことが、分りやすいとは限りません。

しかし大切なのはむしろ、二つを比べた時、ほとんどの人が、前者の方に、力と魂を感じるであろう——ということなのです。

我々は、言葉の歴史の中に生きています。だから、考えるより先に、感じる事が出来るのです。

俵万智さんは、授業で短歌を《教える》ことは出来ないと言いました。いいわねー、いいわねー、というしかないそうです。まず、全ての教員が《いいわねー》と思う力を持っているかどうかを考えると、確かに難しいところはある。ですが、わたしが俵先生の授業を受けたとしたら、おそらく短歌そのものを忘れても、先生の《いいわねー》は心に残った筈です。

「おいおい、教えることの出来ないものを、教材にはいかんだろう」

という人がいるかも知れません。

すぐに役立たない、全ての生徒に同じ答えを求められない、文学的部分は問題にできない——などといわれれば、頷くしかありません。しかし、それが教科書の中に置かれ、東や西、北から南の、多くの子供たちの目に触れることに、計り知れない意味がある。体育の授業が子供たちの体を作るように、それらが国の言葉の体力をつけるのです。

『山月記』は若い心に響きやすい教材ですが、わたしがその一連の授業を終えた時、廊下で待っていた生徒がいました。その子は、——先生、と、わたしをじっと見、「僕は、『山月記』を全部、原稿用紙に書き写しました」

その顔を、今も鮮やかに覚えています。

授業で西脇順三郎を知り、詩集を買ったという人にも会いました。

(中略)

無論、そういった人たちは、教室にいる中の、ほんの一握りでしょう。

それはそうです。体育の授業でサッカーを習っても、その道に進む子は少ない。走らされても陸上競技までやる子は、ほとんどいない。それでも、体育が子供たちの体を作るように、実用的とはいえない言葉が、全ての子供たちの国語の体力をつけるのです。

(中略)

言葉の問題に関しては、今すぐ役立つことだけが大切ではない。国語が大きな流れの中にあることを忘れ、実用性、即効性を求めれば、失うものもまた大きいでしょう。

- * 枚挙にとまがない……数が多すぎてきりがないこと。
- * 桂馬……将棋の駒の一つ。
- * 詰む……将棋において王将の逃げ場がなくなること、勝ち負けが決まること。
- * 歩……将棋の駒の一つ。
- * UCLA……アメリカの大学。
- * 終止形……文が終わるときの形。
- * 早き……「早し」の文が終わらず、下に続く言葉を説明する形。
- * 俵万智……『サラダ記念日』などで知られる歌人。高校の国語の教員であった。
- * 即効性……すぐに効き目が表れること。

問一 ①に入る漢字一字を答えなさい。

問二 部②「かたいお菓子」③「柔らかいお菓子」とありますが、それぞれのたとえを説明した組み合わせとして最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア ②聞いたことのない言葉 ③聞いたことのある言葉

イ ②難しい言葉 ③わかりやすい言葉

ウ ②役に立つ言葉 ③役に立たない言葉

エ ②簡単な言葉 ③つまらない言葉

問三 部④「ぼかんとしているしかなくなる」とありますが、ここでの意味に最も近い言葉を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 頭が上がらない

イ 首をひねる

ウ 胸をなでおろす

エ 手も足も出ない

問四 部⑤「この言葉がここでは打たれるべき《歩》だった」とありますが、その内容を説明した次の文の□に入る言葉を二十字以内で答えなさい。

考えが論じられる際に、「枚挙にいとまがない」という言葉が、□で用いられたということ。

問五 部⑥「何か」について、具体的に何を指しますか。最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 実用性

イ 意味

ウ 力と魂たましい

エ 役立つこと

問六 部⑦「分かりやすいことが、分かりやすいとは限りません」とありますが、どういうことですか。「芭蕉の句を」に続くように、五十字以内で答えなさい。

問七 部⑧「国語の体力」とはどのような意味ですか。簡潔に説明しなさい。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

* ニシゴリラの大半を占めるニシローランドゴリラは赤道直下の熱帯雨林に生息していて、現在およそ二十万頭います。生息域が広いため個体数はゴリラの中でもっとも多いのですが、これまであまり研究がされてきませんでした。

① その理由はニシローランドゴリラと人間との関係にあります。現地では古くからゴリラを食用として狩ってきた歴史があるため、この地域のゴリラは人間を特に恐れています。(中略)

最新の研究で、ニシローランドゴリラは特定の状況で歌うということがわかってきました。ゴリラの歌には、主に「フート」と「シンギング」「ハミング」などの種類があります。

フートは、「ホーホッホッホッホ、ホーホッホッホッホ」というように聞こえます。フートは、離れたもの同士が鳴き合うときに使われる歌声です。離れて互いに姿が見えないときに、互いを確かめ合うために出す鳴き声ではないかと考えられています。

「ここにいるよ」と知らせるために鳴くこともありますし、あるいはちょっと悲しげに「僕を置いていかないで」というふうに聞こえることもあります。
A、威嚇するときや警告するときにも出される音声です。

ニシローランドゴリラではオスにもメスにも、大人にも子どもにもフートが見られるのですが、マウンテンゴリラは大人のオスしかフートを発しません。

マウンテンゴリラはいつも集団でまとまっていて、離れることがありませんから、互いの存在を確認し合うためのフートが必要ではなくなりました。もともとはマウンテンゴリラも全員がフートをしていたのかもしれませんが、その習性は大人のオス以外にはもう残っていない、と考えることができます。【ア】

フートは人間の鼻歌(ハミング)のように聞こえることがあります。私は、かつてマウンテンゴリラのヒトリオスのフートを聞いたことがあります。その歌声はとてものびやかで、まるでヨーロッパの民謡のように聞こえました。初めてフートを聞いたとき、私は近くに誰か人間がいて、西洋の歌を歌っているのかと思ったほどです。人間の歌声とはちょっと違うけれども、同じようなメロディもあります。【イ】

マウンテンゴリラのフートは、仲間にかけることが目的ではないのか、ほかの個体からの応答はありませんでした。めったに聞けないので、はっきりしたことはわからないのですが、自分のそのときの気持ちが変わらずメロディになって口から漏れ出るのではないかと、と思います。

ひとりで行動するオスは、孤独です。群れを離れてしまうとほかの群れからも相手にされないし、ヒトリゴリラ同士の付き合いもほとんどありません。

B、寂しいときに自分を勇気づけるために、あるいは楽しくなるために歌うのかもしれない、とも思います。【ウ】

シンギングというのは、満足音です。「ホォー、ホォホォー」と高音で歌っているように聞こえます。鼻ではなく、喉で響かせている声です。音の高低がめまぐるしく変わり、濁音なども入ります。シンギングは、主に自分の群れの中で交わす声です。

シンギングをするのはマウンテンゴリラでもニシローランドゴリラでも子どもだけです。【エ】

ハミングは、ゲップ音に近い音です。マウンテンゴリラもニシローランドゴリラも、性別には関係なく子どもから大人までみんなが出す声です。たとえば、みんなが集まり、食事が始まるとハミングが始まります。

ハミングは「みんなに食べ物がいきわたって満足したな」ということを確認し合うための行動だと考えられます。「おいしいね」「みんな幸せだね」ということをみんなで歌っているような感じがします。緊張のあるときはハミングは聞かれませんが、また、自分だけが食べ物を持っているときにも、ハミングはありません。

ニシローランドゴリラはヒガシゴリラに比べて歌う頻度が高いです。これは、果実を好んで食べることで、活動範囲が広いことが理由にあるのではないかと私は考えています。

フルーツを求めてニシローランドゴリラたちは歩き回り、木に登ります。ニシローランドゴリラはいつもまとまりよく集団で移動しますが、個々で果物を探すためにいったん分散します。みんな近くにいるとはいえず、緑生い茂る深い森の中で全員が今どこにいるのか、常に把握するのは難しいでしょう。そのため「僕はここにいるよ」「私はここよ」と歌うのではないかと私は考えています。

ゴリラはもともと、表情の豊かな生き物です。互いの目をじっと見つめ合う、フェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーションを好みます。マウンテンゴリラは地上にすることが多く、互いの顔がよく見えるので、表情によって気持ちを共有できていて、歌う必要がないのでしょうか。

でも木に登って食事をすることもあるニシローランドゴリラは、葉の陰に隠れて時々互いの顔が見えにくくなります。そんなとき、ニシローランドゴリラは、歌うことによって共鳴し合っているのではないのでしょうか。

③ゴリラは言葉を持ちませんが、いろいろな方法で気持ちを伝え合っています。表情や歌が、ゴリラにとっての表現方法です。言葉はなくても歌があるから、ニシローランドゴリラはまとまりのよい集団を形成できているのです。

現段階ではゴリラには数種類の歌声があることがわかっていますが、それぞれの違いや機能についての詳細は、今後の研究によって明らかになっていくでしょう。

山極寿一『サル化』する人間社会』より

* ニシゴリラ……ゴリラには大きく分けてヒガシゴリラとニシゴリラがいて、マウンテンゴリラはヒガシゴリラの一種とされる。

* 頻度……あることが繰り返されたり、あらわれたりする度合い。

* フェイス・トゥ・フェイス……顔と顔を直接向き合わせること。

問一 文中の [A]、[B] に当てはまる語として最も適するものを、次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。
ア また イ つまり ウ だから エ しかし

問二 次の文を入れるところとして最も適する場所を、文中の【ア】、【エ】の中から選び、記号で答えなさい。

歌でも歌わなければ、不安で仕方ないときがゴリラにもあるのかもしれないね。

問三 —— 部①「その理由」の「その」が指すのはどんなことですか。本文中の言葉を使って答えなさい。

問四 —— 部②「果実を好んで食べる」と、活動範囲が広いこととありますが、これらのことがニシローランドゴリラの歌う頻度を高めるのはなぜですか。本文中の言葉を使って答えなさい。

問五 —— 部③「ゴリラは言葉を持ちませんが、いろいろな方法で気持ちを伝え合っています」とありますが、わたしたち人間が気持ちを伝え合うために、最も効果的だとあなたが考える言葉以外の方法・手段は何ですか。理由とともに答えなさい。

問六 本文の内容に合っているものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア マウンテンゴリラは、人間に狩られて食べられてしまうことを恐れている。
- イ マウンテンゴリラの大人のオスは、仲間にかけるためにフートを発する。
- ウ シンギングは性別には関係なく子どもから大人までみんなが出す声である。
- エ 自分だけでなくみんなに食べ物がいきわたらないとハミングは始まらない。

三 次の1～5の意味を持つ四字熟語を後の語群から選んで、完成させるために□に入れる漢字を書きなさい。

- 1 前置きの言葉を省いて、いきなり話の本題に入ること。
- 2 追いつめられて、にげられないこと。
- 3 あることをなすとげようと決心すること。
- 4 とても待ち遠しいこと。
- 5 数多くあるのに非常に値段が安いこと。

一日千□

一念□起

二足三□

絶□絶命

□刀直入

四 次のカタカナを漢字に直しなさい。

- 1 ニモツを背負う。
- 2 夕日にテラされる。
- 3 計画をネる。
- 4 台所をエイセイ的に保つ。
- 5 エキシヤで電車を待つ。
- 6 ふろに入るためにヨクシツに向かう。



